

## 事前申請要 自動車急発進防止装置費用補助

問環境生活課（市役所1階1番窓口） ☎ 32-2056

アクセルとブレーキを踏み間違えた、急発進による交通事故を防ぐため、取付費用の一部を補助します。申請は、取付前に必要です。予算に達し次第、終了します。

**対象者** 市内に住む65歳以上の人

**対象自動車** 使用する自家用車

**対象装置** オートマチック車に後付けする急発進防止装置

**補助金額** 取り付けに必要な費用の3分の2（上限10万円）

**申請方法** 窓口に備え付けの申請書に必要事項を記入し、提出する

**締め切り** 令和6年3月15日(金)



## 補助します 特殊詐欺被害防止電話機

問環境生活課（市役所1階1番窓口） ☎ 32-2056

特殊詐欺被害を防ぐため、市内に住む65歳以上の人、防止機能付き電話機の購入と設置をする場合、費用の一部を補助します。申請は、購入前に必要です。予算に達し次第、終了します。

**補助金額** 購入費用の2分の1（上限額5,000円）

**申込方法** 窓口に備え付けの申請書（市ホームページから印刷可）に必要事項を記入し、提出する

**締め切り** 令和6年3月15日(金)



### 対象の電話機

次の要件をすべて満たすもの

- ▼市内の事業者から購入する
- ▼登録外の番号からの着信に注意を促す機能がある
- ▼自動応答する機能がある
- ▼録音する機能がある

## 光化学オキシダントに注意

問環境生活課 ☎ 32-2055

### 大気汚染防止夏期対策期間（5月10日～9月10日）

光化学オキシダントは、気温が高く風が弱い日中に、自動車の排気ガスや工場の煙などに含まれる大気汚染物質が、強い紫外線を受けることで発生します。県内の発生状況は、県環境保健センターのホームページで確認できます。



### ●健康被害を受けたら

目がチカチカしたり息苦しくなるなどの症状が出たら、屋内に入って安静にし、改善しないときは速やかに医師の診察を受けましょう

## ごみの野焼きは禁止です

問環境生活課 ☎ 32-2055

農業を営むための畦焼き、落ち葉の焼却など、一部の例外を除き、ごみの野焼きは、法律で禁止されています。ドラム缶やブロック囲いを使った野焼きも禁止です。

## 健康診査・がん検診を受けましょう！

問健康増進課（津山すこやか・こどもセンター内） ☎ 32-7009

市内の医療機関で、6月～令和6年1月に受けることができます。集団健（検）診は、津山すこやか・こどもセンターで受け付けています。

健康診査受診券・クーポン券は、5月下旬に対象者に送付します。

### ■令和5年度の健（検）診

年齢基準日：健診＝令和6年3月31日、がん検診など＝令和6年4月1日

項目	種類	年齢	女性	男性	備考
健診	特定健診	40～74歳	○	○	
	高齢者健診	75歳以上	○	○	
がん検診	胃がん（エックス線）	40歳以上	○	○	
	胃がん（胃内視鏡検査*1）	50歳以上（2年に1回）	○	○	医療機関のみ
	結核・肺がん	40歳以上	○	○	
	大腸がん	40歳以上	○	○	
	前立腺がん	50～69歳	—	○	
	子宮頸がん	20歳以上	○	—	21歳の人は、クーポン券あり
がん検診	乳がん（視触診のみ）	40歳以上（偶数年齢）	○	—	医療機関のみ
	乳がん（視触診/マンモグラフィ併用）	40歳以上（奇数年齢）	○	—	集団検診は、マンモグラフィのみ。41歳の人は、クーポン券あり
検査	肝炎ウイルス	40歳以上	○	○	検査を受けたことがない人

### \*1 胃内視鏡検査

2年に1回受けることができます。令和4年度に胃内視鏡検査を受けた人は、胃内視鏡検査と胃部エックス線検査のどちらも受けることができません。

## 人間ドック費用助成（国民健康保険加入者対象）

問医療保険課国民健康保険係（市役所1階9番窓口） ☎ 32-2071

受診から90日以内に医療保険課または各支所・出張所の窓口で申請してください。

**対象** 次のすべてに当てはまる人

- 受診時に津山市国民健康保険（国保）の加入者で、年齢が35～74歳
- 属する世帯が国保料や市税を滞納していない
- 同一年度内に市の特定健診・がん検診、人間ドックの助成を受けていない

**助成額** 受診費用から5,000円を控除した額（上限20,000円\*2）

**持ってくるもの** 人間ドックの受診結果、領収書など

\*2 令和6年3月31日時点の年齢が35・40・45・50・55・60・65・70歳の人は、上限30,000円

### 対象の人間ドック

- ▼県内の医療機関で受診
- ▼特定健康診査の基本項目と詳細項目を受診（①）
- ▼腹部超音波検査、胸部エックス線検査、胃部エックス線または内視鏡検査、大腸がん検査の4項目のうち、3項目以上を受診（②）
- ▼脳ドック検査、前立腺がん検査、乳がん検査、子宮がん検査（①、②を同時に受診し、各項目の金額が分かる場合）